

親切運動の取組について

学校名 射水市立堀岡小学校

児童数 140名

1 親切運動の取組の紹介

(1) 「スマイル・ハッピー大作戦」～自分にできるボランティアに挑戦しよう！～

5年生が校区にあるグループホーム「ケアホームほりおか」の利用者と交流活動を行った。交流会を計画する際、「高齢の方に分かりやすいようにゆっくり大きな声で話をしよう」「笑顔になってもらえるようにゲームを工夫しよう」などと、相手に合わせた接し方を考えながら、児童は交流会の内容を工夫した。交流会では、最初は緊張していた子供達も、徐々に高齢の方と会話ができるようになり、最後は互いに笑顔で交流を楽しむ姿が見られた。この学習を通して、相手に合わせた接し方を考え、相手の立場に立って行動するなど、思いやりの心を育むことができた。



〈お年寄りと交流する様子〉

(2) あいさつ運動

さわやかな挨拶を広めるため、あいさつ安全委員会の児童や各学年の担当日を決めて、あいさつ運動を行っている。11月には、教師やあいさつ運動を担当した児童が、さわやかな挨拶をしている児童にシールを渡し、そのシールを玄関前に掲示している「あいさつの木」のポスターに貼るために行った。「あいさつの木」の掲示ポスターをシールで満開にしようとして積極的に挨拶をする児童が見られた。



〈玄関で挨拶する子供達〉

(3) ベルマーク・アルミ缶回収

あいさつ安全委員会が中心となり、毎月、全校に協力を呼びかけている。協力した児童には、委員会から感謝状を渡すなどして参加を促している。

(4) あったかハートフル集会

あいさつ安全委員会が中心となり、仲間との絆や人権について考える集会を行った。劇やクイズ、ゲームを通して、誰とでも仲よく活動することや、人の気持ちを考えた行動をすることについて全校で考えた。



〈人権について劇で伝える子供達〉



〈ゲームで異学年と交流する様子〉

2 親切運動に取り組んで

様々な人と直接交流したり、ボランティア活動を仕組んだりすることで、児童は、人や地域とつながりながら、人の優しさや温かさに直接触れ、地域には、児童が知らないすてきな場所がたくさんあったり、温かい人々がたくさん住んでいたりすることを知った。今後も、地域との交流や異学年での活動を通して、地域への愛着や誰かの役に立つことの喜びを積み重ねることができるようしていきたい。